営農情報

特定外来生物『クビアカツヤカミキリ』に注意してください！！

高槻市農業協同組合

クビアカツヤカミキリは、ウメやモモ、サクラ等に寄生し、幼虫が樹木の中を食い荒らす外来昆虫です。

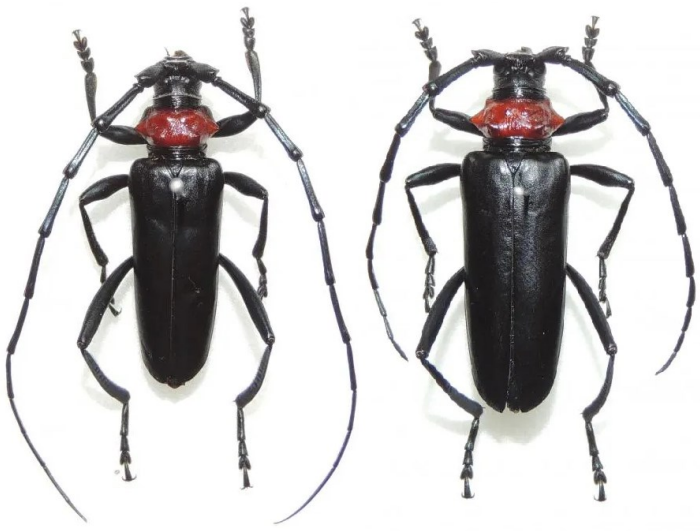
平成30年１月に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」による特定外来生物に指定され、飼育、保管、運搬、輸入、野外への放出などが原則禁止となっています。

大阪府では、平成２７年に南河内で初めて確認され、令和５年3月現在、１９市町村でクビアカツヤカミキリによる被害が確認されています。

高槻市でも、**令和３年８月に初めて被害が確認され**、現在、被害が拡大していますので、被害防止のため、早期発見・駆除、情報提供にご協力お願いします。

※クビアカツヤカミキリの基本情報

分　　類	コウチュウ目・カミキリムシ科
体　　長	２ｃｍ～４ｃｍ（成虫）
特　　徴	からだ全体が黒く光沢がある。 頭部の下（前胸の一部）が赤く、突起がある。
生　　態	成虫の発生期：6月から8月頃 幼虫の活動期：3月から10月頃
被害樹種	ウメ、モモ、サクラなど主にバラ科の樹木
主な被害	幼虫は樹木に寄生し、中を食い荒らす。 被害が進行すると、樹木は弱り、枯死してしまう。 枯死した樹木は、落枝や倒木のおそれがある。 繁殖力が非常に強く、成虫は２～３ｋｍも飛翔し被害を拡散させる。



オス(写真左)：触角が長い。
メス(写真右)：触角が短い。

クビアカツヤカミキリの被害は、幼虫が生きている樹木の幹や根を食害して排出するフラス（木くず・糞の混合物）の特徴からも、概ね判断することができます。

＜フラスの特徴＞

①大量のフラス
②うどん状に固まる。
③樹幹の下部や根に被害が多い。

※クビアカツヤカミキリを見つけたらその場で駆除

成虫を発見した場合は、その場で駆除（踏みつぶす等）してください。
（生きたまま持ち運ぶことは外来生物法違反となります。）
大量の木くずやうどん状に固まったフラス、成虫を発見した場合は、下記までご連絡ください。

＜連絡先＞

JAたかつき総合営農センター　営農経済部　営農指導課　　TEL ： ６７１－１２３４
高槻市　街にぎわい部　農林緑政課　　TEL ： ６７４－７４０２

画像提供：埼玉県環境科学国際センター